合同プレス発表会で発表する塚原社長

「COCOAR2」をインストールして写真にかざすと発表風景が見れます。

37 株式会社CrowLab（クロウラボ）

被害の多い都会のカラスをみごとに撃退

9月10日に開催された平成30（2018）年度「第1回新商品・新サービス合同プレス発表会」で発表した各社と商品を紹介するコーナーです。今回は株式会社CrowLab（クロウラボ）をご紹介します。

宇都宮大学発のベンチャー企業、㈱CrowLabの塚原直樹社長は、「カラスの先生」としてマスコミにも登場する杉田昭栄先生の下で、カラスの研究に力を注いできました。その成果をもとに開発したのが、ごみ集積所でのカラスによるごみ荒らし防止装置「CrowController」です。

この機械の中には、カラスが外敵に襲われた時に発する声がセットされています。そして、センサーがカラスの接近に反応し、その音を再生します。近づこうとしたカラスは、それを仲間が発した警戒の声と思い、近づくのをやめ飛び去ります。

カラスの研究を16年以上行ってきた塚原社長は「カラスはコミュニケーション能力の発達した、賢い生き物。仲間の警告の声をきちんと理解できますから、機械の効果が出るのです」と話します。

実際にスイッチを入れて音を聞かせてもらうと、おなじみのカラスの鳴き声がスピーカーから出てきました。音量は意外に小さいのですが、これも研究の成果。カラスが音に慣れてしまうと効果がなくなるので、あえて音量を絞り、近くに来たカラスだけに聞こえるようにしてあるのだそうです。

実際にごみ集積場で実験的に使用した動画を見ると、音が出た瞬間にカラスが動きを止め、周囲をしばらく観察したのちに逃げ去る様子が、はっきり映っています。実証実験に協力してもらっている自治会の評価も高いそうです。

この号が出る頃には正式発売を予定しているそうです。当面はホームページからの直販ですが、今後販路も検討していくとのこと。また、家畜や果樹の被害用の製品も研究中で、こちらは複数台をシンクロさせて広範囲に対応できるものとなるようです。開発費用はクラウドファンディングを活用しています。

「単3電池4本で、平均して1カ月くらいは稼働できますから、ランニングコストはわずかです。音量も小さいので、住宅地での利用も問題ありません。自治会や商店街など、さまざまな場所で活用していただけると思います」

㈱CrowLab
代表取締役　塚原直樹さん

Information　株式会社CrowLab　宇都宮市中央3-1-4栃木県産業会館3階　☎028-614-3690　http://crowlab.co.jp